



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2021年1月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに持ち直しているが、足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響がみられている。

最終需要面をみると、個人消費は、全体として徐々に持ち直しているが、足もとでは感染症の再拡大の影響から足踏み感がみられている。観光は、落ち込んだ状態となっている。住宅投資は弱い動きとなっている。公共投資は高水準で推移している。設備投資は大型案件が寄与して高めの水準で推移している。

生産は持ち直している。雇用・所得環境は弱い動きとなっている。消費者物価指数は前年を下回った。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課
850-8645 長崎市炉粕町32番地
TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299
本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。

1. 需要項目別動向

個人消費は、全体として徐々に持ち直しているが、足もとでは感染症の再拡大の影響から足踏み感がみられている。

11月の商業動態統計は、前年を上回った。12月の乗用車新車登録台数は、前年を上回った。

観光は、落ち込んだ状態となっている。

11月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年比マイナス幅が縮小した。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

11月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

公共投資は、高水準で推移している。

12月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、大型案件が寄与して高めの水準で推移している。

11月の建築物着工床面積は、前年を上回った。2020年度の設備投資(2020年12月短観)は、前年度を下回る計画となっている。

2. 生産

生産は、持ち直している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスが持ち直している。機械・重電(原動機、大・中型モーター、冷熱機器)、大手・中堅造船は、横ばい圏内で推移している。中小造船は、更新需要等を背景に高水準の受注残となっており、高操業が続いている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。

11月の有効求人倍率は、0.9倍台となった。10月の雇用者所得は、前年を下回った。

4. 物価

11月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を下回った。

5. 金融

11月の総預金および貸出金は、いずれも前年を大幅に上回った。

6. 企業倒産

12月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回（2020年12月公表分）	今回（2021年1月公表分）
景気全体	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるが、緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直しているが、 <u>足もとでは新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響がみられている。</u>
個人消費	全体として徐々に持ち直している。	全体として徐々に持ち直しているが、 <u>足もとでは感染症の再拡大の影響から足踏み感がみられている。</u>
観光	厳しさは残るものの、持ち直しつつある。	<u>落ち込んだ状態となっている。</u>
住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
設備投資	高めの水準で推移している。	高めの水準で推移している。
生産	持ち直している。	持ち直している。
雇用・所得	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。

(注) 下線は変更箇所。